

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年10月2日～2017年10月8日】

[当地報道をもとに作成]

平成29年10月27日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【アブハジア】

#### ▼シリア国会議員のアブハジア訪問(9月27日)

・9月末にシリアの国会議員7名がアブハジアを訪問し、ハジンバ「アブハジア共和国大統領」、バルツィツ「首相」、コヴェ「外相」、アルジンバ「経済相」らと会談。アルジンバ「経済相」によれば、シリアとアブハジアの間で自由貿易協定の締結が準備されている。

### 【南オセチア】

#### ▼第81回IPRM会合(3日)

・エルグネティにて第81回IPRM会合が行なわれた。ツヒンヴァリにて長期間勾留下にあるギウナシヴィリ氏の問題、行政境界線(ABL)付近の障害物の設置が住民に与える影響、ABL付近の農地の安全な利用、エレドヴィ村の避難民の家屋の解体、ABL付近の火災の危険性などについて議論された。次回の会合は11月16日に行なわれる予定。

## 2. 外 政

#### ▼大統領のポルトガル訪問(1日-3日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領はポルトガルを初めて公式訪問し、ポルトガルのソウサ大統領、ロドリゲス国会議長、コスタ首相らと会談。「ソ」ポルトガル大統領との会談では、ジョージアのEU・NATO加盟、今後の東方パートナーシップ首脳会議、NATO首脳会議などについて議論された。「マ」大統領はジョージアの被占領地域の状況を説明。

#### ▼OSCE「メディアの自由」代表のジョージア訪問(3日-4日)

・デシル OSCE「メディアの自由」代表がジョージアを訪問。ジャネリゼ外相、チュゴシヴィリ国会副議長、ナスアシヴィリ人権保護官、メディアおよびNGO関係者らと会談し、ジョージア国内のメディアの状況について議論。「デ」代表は、情報へのアクセスに関する国民の権利が拡大されるとして憲法改正を歓迎。公共放送局の改革について、放送局の独立性を損なうことなく、透明に進められねばならないと述べた。欧州人権裁判所で争われているTV局「ルスタヴィ2」の問題およびアゼルバイジャン人記者ムフタルル氏の誘拐事件も取り上げられた。

#### ▼愛国者連合議員のモスクワ訪問(2日-4日)

・愛国者連合のロミア議員、マルシャニア議員、チヘイゼ議員がモスクワを訪問し、カラシニコフ露国家院CIS・

ユーラシア統合委員会委員長、コサチョフ露連邦院外務委員会委員長らと会談。ジョージア・露間の外交関係の再開の見通しなどについて議論。愛国者連合の議員のモスクワ訪問は7月に続き2度目。

・「ロ」議員は、ジョージアはロシアともNATOとも協力でき、ロシアがジョージアを脅威と受け止めないようにせねばならないと述べた。愛国者連合はジョージア・NATO・ロシアの三者協議の実施を主張している。

・チュゴシヴィリ国会副議長(与党)は、被占領地域の状況が悪化しており、民族浄化・差別が起こっているなかで、このような会合は国益にそぐわないとコメント。統一国民運動、自由のための運動・欧州ジョージアの議員らも批判。

#### ▼独国防相のジョージア訪問(5日)

・ライエン独国防相がジョージアを公式訪問し、クヴィリカシヴィリ首相、イゾリア国防相らと会談。

・「イ」国防相との会談では、アフガニスタンでのミッションを含む二国間国防協力、米国のイニシアチブにより2018年に開始されるジョージア国防体制プログラムなどについて議論。「イ」国防相は記者会見でジョージアとドイツとの間には「非常に重要な戦略的パートナー関係」があると述べた。

#### ▼リトアニア軍総司令官のジョージア訪問(5日-6日)

・ジュカス・リトアニア軍総司令官がジョージアを公式訪問。チャチバイア統合参謀長と会談し、共同訓練評価センターを視察。会談では、二国間の軍事協力が成功裡に進められていることが強調された。

#### ▼GUAM特別外相会合(8日)

・トビリシにてGUAM創設から20周年を記念する特別外相会合が開かれ、ジャネリゼ外相、メメディアロフ・アゼルバイジャン外相、ガルブル・モルドバ副首相兼外務・欧州統合相、クリムキン・ウクライナ外相らが出席。「ジャ」外相は、「GUAMは20年間で協力の枠組みを構築し、国際場裡において独自の強力な政治的地位を獲得した」と挨拶した。各国外相は共同声明に署名。

・各国外相はマルグヴェラシヴィリ大統領およびクヴィリカシヴィリ首相と会談した。

## 3. 内 政

#### ▼シリアでのジョージア国籍男性の死亡(2日)

・パンキシ渓谷出身のジョージア国籍の18歳の男性がシリアで死亡したことが報じられた。男性は2年前に出国し、トルコ経由でシリアに渡っていた。死亡の詳細は不

明。

・2012年以降、少なくとも26人のパンキシ渓谷出身者がシリアでの戦闘で死亡している。

#### ▼女性への議席の割り当てに関する法案(5日)

・国会法務委員会は、国会・地方議会選挙の比例代表名簿で男女を交互に並べることを義務づける法案の承認を決定。法案によれば、補欠選挙の場合は必ず同性の候補者が選ばれねばならない。法案は既に国会の人権委員会および地方発展委員会にて承認され、与野党の女性議員が支持を表明している。

・法案が国会で採択された場合には、2020年の次の国会で最低38名、2024年の選挙では半数が女性議員となる。国会の女性議員は現在23名。

#### ▼憲法改正案に関するヴェネチア委員会の最終意見(6日)

・欧州評議会の諮問機関であるヴェネチア委員会が憲法改正案に関する最終意見を発表。9月22日に発表された予備意見からの変更は2点。与党が2020年の国会選挙で政党連合の禁止を撤回し、死票の分配方法を公平なものに改める姿勢を示したことを歓迎。また、憲法裁判所が選挙の合法性を判断する際に裁判官全員の意見の一致が必要とされているのを改めるよう勧告している。

#### ▼大統領選挙に関する首相の発言(7日)

・クヴィリカシヴィリ首相は、記者の質問に対し、2018年の大統領選挙への自身の出馬の可能性を否定。「2021年に東西ハイウェイの最後のリコティ峠区間を完成させる。それまでに国民にとって重要な多くの仕事がある」述べた。

## 4. 経 済

#### ▼EIB代表団のジョージア訪問(2日)

・フダク欧州投資銀行(EIB)副総裁がジョージアを訪問し、クヴィリカシヴィリ首相と会談。会談ではジョージアの投資環境、国内改革、EIBの支援により進められているジョージアの中小企業支援プロジェクトなどについて議論された。

・EIBはジョージアの公的部門に約1,330百万ユーロ、民間部門に209百万ユーロを出資している。

#### ▼Al Bawani Group 代表団のジョージア訪問(2日-3日)

・サウジアラビア企業「Al Bawani Group」社長がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、ガハリア経済・

持続的発展相、アラヴィゼ地方発展インフラ相、パートナーシップ基金総裁らと会談。アル・シャヴァフィ同社社長は、サウジアラビアにとってジョージアはその経済的な潜在的可能性により興味深い市場であるとして、様々な分野への投資に前向きな姿勢を示した。

#### ▼2017年9月のインフレ率(3日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は0.7%。食料品・非アルコール飲料の価格が1.2%上昇。輸送費が1.8%上昇。

・年間インフレ率は6.2%。食料品・非アルコール飲料の価格が6.5%、輸送費が14.7%、アルコール飲料・タバコの価格が17.4%、医療費が7.7%上昇。

#### ▼2017年9月の入国者数(3日)

・内務省が発表。2017年1月~9月の入国者数は5,822,835人、前年同期比19.2%増。

・2017年9月の入国者数は763,729人、前年同月比20.9%増。出身国別では多い順にロシア(前年同月比32%増)、アゼルバイジャン(同15.6%増)、アルメニア(同11.8%増)、トルコ(同10.5%増)、ウクライナ(同0.2%増)、イラン(同80%増)。英国、ドイツ、フランス、ポーランド、リトアニア、イタリアなどEU諸国、イスラエル、カザフスタン、ウズベキスタン、ベラルーシ、米国などからの入国者数が増加。

#### ▼カザフスタン投資開発相のジョージア訪問(6日)

・カシムベク・カザフスタン投資開発相がジョージアを訪問し、クヴィリカシヴィリ首相と会談。両国の貿易・経済協力、ジョージア国内のインフラプロジェクト、地域の経済情勢などについて議論。鉄道・物流の分野での協力および「新シルクロード」プロジェクトにおける協力の推進にも焦点が当てられた。カザフスタン側はジョージア国内のインフラプロジェクトへの参加に関心を示した。

・「カ」カザフスタン投資開発相は、ガハリア経済・持続的発展相とともに、トビリシにて行なわれたジョージア・カザフスタン政府間委員会の第9回会合に出席。会合では、投資、物流、工業、観光、農業、通信などの分野における二国間協力について議論された。